



# 園だより



文京区立根津幼稚園

## 「遊びを大切に」

副園長 野本 和美

子どもたちは、日々いろいろな遊びをしており、遊びの進め方や友達との関わり方など様々な姿が見られます。私は、毎日各学級を覗きに行くのが楽しみで、子どもたちの姿を「おもしろいな」「素敵だな」と思いつつ見えています。ある日の3学級の様子をちょっとご紹介したいと思います。

3歳児りす組です。廊下では仮面ライダーのショーが始まり、カセットから音楽を流しのびのびと踊っています。お客になった子たちは応援したかと思えばジュースを飲んだり雑談したり、思い思いに過ごしています。保育室では人形劇の舞台があり、ぬいぐるみを動かしています。数名で集っていますが、各々が自分なりに動かすことが楽しそうです。他にも、箱や紙をつなげて製作したり、コマを回したり、自分のしたいことを見つけて遊んでいます。3歳児は自分のしたいことを思い切りできることが大切です。

4歳児はな組です。保育室では学校ごっこが始まり、友達とカバンやノートを作り勉強しています。「休み時間にしよう」「いいね」「ノートをしまって遊びに行こう」とやり取りしながら遊んでいます。ピタゴラスイッチの場では、ペーパー芯やカップや箱を組み合わせてビー玉が転がるようにしています。「うまく転がらない」「つなげるといいよ」「箱持っていてあげるよ」と自分のしたことを知らせたり手伝ったりしながら遊んでいます。4歳児は一緒にいる友達に思いを伝えたり、聞いたりしながら遊ぶ楽しさを感じる事が大切です。

5歳児ほし組です。「ねづっこ劇場」に向かう今なので、遊戯室ではグループごとに劇の練習をしています。その隣では自分たちでゴザを敷き、囲碁が始まっています。囲碁をする2人を数名が覗き込み、巷の囲碁クラブのようです。保育室では、折り紙で手裏剣を折ったり箱で電車を作ったり、園庭ではサッカーや一輪車に挑戦したりしています。5歳児は、今までの経験を生かしながら、自分たちで遊びを進めていくことが大切です。

子どもたちは、遊びの中で必要な物を作ったり、思ったことを言ったり聞いたり、考えたり試したり、挑戦したり…様々な経験をしています。その姿を見ていると、たくさんの力を身に付けていることが分かります。これからも、発達に応じた遊びを大切に教育を進め、子どもたちの成長を支えたいと思います。



人形劇 やってます (りす組)



学校ごっこ「勉強しようね」(はな組)



一輪車 挑戦中(ほし組)